

相馬市立中村第一中学校だより



# 螢雪の功

令和6年9月13日発行  
文責 高瀬 永志

## 駅伝大会で輝くー中生 女子チーム2位！

南相馬市馬事公苑にて県中体連駅伝競走相双地区予選会が開催されました。相双地区の中学校の代表選手が健脚を競い合いました。大会3連覇をねらう女子チームは、楓葉中との激しい首位争いの末、わずかな差で2位でフィニッシュとなりました。悔し涙も見られましたが、相双の代表として県大会出場権を得ました。男子チームがスタートすると昨年を思わせるような雨が降り始め、きびしいコンディションとなりました。しかし、みんな雨にも負けず力強い走りを見せ、7位でゴールしました。それぞれが自分の思いをもって挑戦し、暑さの中を頑張ってきた経験は、一人一人の成長につながったことだと思います。県大会は10月8、9日いわき市21世紀の森公園にて開催されます。

**男子メンバー** 岩崎さん2年 穂積さん1年 八巻さん3年  
**女子メンバー** 高橋さん1年 佐々木さん2年 新木さん3年  
**区間賞** 男子5区(3km) 佐々木さん10分49秒  
 女子1区(3km) 小野田さん10分35秒  
 女子3区(2km) 河内さん 7分52秒



## 最優秀賞に輝いた吹奏楽部

福島県下小中音楽祭「第2部合奏」が、相馬市民会館にて開催されました。夏のコンクールの後、この大会に向けて吹奏楽部の子ども達は日々練習を重ねてきました。みんなの心を一つの曲に込めて、素晴らしい演奏ができました。他の参加団体の演奏レベルも高く、甲乙つけがたい激戦の中、最優秀賞に輝きました。県大会は10月11日に須賀川市で開催されます。

## 語彙力は大切

本校では、授業や週末課題などでリーディングスキルを伸ばそうと取り組んでいるところです。教科書の文章で、子ども達にとって親しみのない、意味が通じない言葉があると、自分で教科書を読んで理解することが難しくなります。

**98%の壁**というのがあって、まとまった文章を流ちょうに読んで理解するためには、そこにある**98%以上の語彙を知っている必要がある**といいます。大人でも、契約書、申請書、マニュアルなど読んで理解するのがつらいときがあるのはそのためです。子ども達には、自分で教科書や参考書を読んで理解し、自主的に学習を進める力を身に付けるためにも、**語彙をふやすことは大切だと考えます。**



1年4組社会のRS視察研究授業の様子

ベネッセによる「現代人の語彙に関する調査」では、**本を「全く読まない人」と、月に「1~2冊読む人」とでは、語彙力に約15%の開きがある**ことが明らかになっています。読書の習慣があることで、自然と語彙が増えしていくということです。それに加えて、**大人との会話が多いこと**、SNSでの単語やスタンプのコミュニケーションから意識的に抜けだし、**文で表現すること**を心がけることなどが、語彙を増やすことにつながります。読解力、学力向上の一つのステップとしてご一考ください。

## 来週の予定

- 9月17日(火) 実力テスト(3年) 中高連携授業2年英語
- 18日(水) P T Aあいさつ運動 7:30~ 職員会議 ノー部活デー
- 19日(木) 中高連携授業3年数学・英語
- 20日(金) 生徒会専門委員会(前期・後期)
- 21日(土) 秋の全国交通安全運動(~30日)

